平成10年〈1998〉7月号 No.719

# 県民の友

発行　和歌山県知事公室　広報広聴課　〒640-8585 和歌山市小松原通1-1　☎0734（32）4111

今月のこよみ
- ●愛の血液助け合い運動月間　1日～31日
- ●海岸・河川愛護月間　1日～31日
- ●夏の交通事故防止県民運動　11日～20日
- ●川の日　7日

JAPAN EXPO
南紀熊野体験博
リゾートピアわかやま'99
開催期間／平成11年4月29日(祝)▶9月19日(日)

## もうすぐ開幕！

アジア・オセアニアの14カ国・地域から約1,200人のこども達が集まって繰り広げる世界初の伝統芸能ステージをはじめ、各国・地域のこどもの遊びや生活文化を体験できる「わんぱっく」。楽しい催しもいっぱいです。

皆さんも、ぜひアジアの元気とふれあってみませんか。

# WANPAC（わんぱっく）

平成10年7月24日(金)～31日(金)

# 第1回 C.I.O.F.F. アジアこどもフェスティバル in 和歌山

入場無料

# あつまれ！アジアの元気。



6月5日に行われたプレイベントの様子

## 来て、見て、実感

楽しい催しが盛りだくさん。ぜひ、参加してください。

●7/24（金）17:00～18:00
**アジアこどもパレード**
和歌山マリーナシティ内
民族衣装を身につけた子ども達による華やかなパレード。

●7/24（金）18:30～
**開催市歓迎セレモニー（前夜祭）**
マリーナシティホールWAVE
アジアからの子ども達とホストファミリーとの歓迎セレモニー。（入場は関係者のみとなります）

●7/25（土）10:00～17:33
7/26（日）10:00～17:00
**アジアこども映画祭**（有料）
わかやま館ドームシアター
アジア・オセアニア各国・地域の子ども達の暮らしを、映画を通じて紹介。前売り券等は5面に掲載。

●7/25（土）9:30～10:30
**開会式**
和歌山ビッグホエール
ゲストにドラえもんを迎えての式典。フェスティバルのテーマミュージックを和歌山の子ども達が歌い踊り演奏。（入場は関係者ほか）

●7/25（土）11:30～19:30
7/26（日）11:00～19:30
**民族芸能公演プログラム**
和歌山ビッグホエール
海外13団体、県外5団体、県内5団体による民族芸能の演技

●7/27（月）11:00～12:00
**アジアのまつり**
和歌山ビッグホエール
アジアの民族芸能の披露に一般観客の体験コーナーを交えた交流ステージ。

●7/27（月）12:00～16:00
**関西の元気大集合**
和歌山ビッグホエール
和歌山のみならず近隣府県の子ども達も参加したバラエティー豊かなステージ。

●7/27（月）16:00～17:00
**日本の祭り**
和歌山ビッグホエール

●7/25（土）10:30～19:30
7/26（日）10:00～19:30
7/27（月）10:00～17:30
**アジアこども絵画展**
和歌山ビッグホエール2階
アジア・オセアニアの子ども達による絵画展

●7/27（月）10:00～12:00
**アジアこども会議**
わかやま館ドームシアター
参加各国・地域の子ども達の素直な考えや夢を発表し、会議の後半にはドラえもんの声で有名な大山のぶ代氏を迎えての親子講演会「アジアのこども達」を開催。

●7/28（火）～7/29（水）
**市町村交流プログラム**
海南市/韓国・下津町/マレーシア・貴志川町/フィリピン・岩出町/オーストラリア・橋本市/タイ・御坊市/ニュージーランド・川辺町/中国・南部川村/スリランカ・中津村/インド・田辺市/アゼルバイジャン・白浜町/モンゴル・日置川町/トルコ・太地町/台湾地域

●7/30（木）16:30～18:30
**閉会式**　ハマブランカ（白浜町）

●7/30（木）20:00～21:00
**花火大会鑑賞**　白良浜
日本の夏を飾る花火大会の鑑賞で大フィナーレ



## まるごとアジア体験（開催場所：和歌山ビッグホエール）

実際のアジアにふれてみませんか。

●7/25（土）10:30～19:30
7/26（日）10:00～19:30
7/27（月）10:00～17:30
**アジアのHARAPPA**
アジアこども遊具展／アジアの友達と一緒に遊ぼうよ！／アジアの絵本朗読／昔なつかし紙芝居／手作り紙芝居優秀作品

**こども縁日**（有料）
ヨーヨー吊り／輪投げ／ストラックアウト／フリーバスケット／お面コーナー／スーパーボールすくい

**民族衣装試着コーナー**
アジア・オセアニア13ヵ国・地域の民族衣装（男女/大人用/子ども用）

**NEOプリントコーナー**
写真シールプリント

**海外参加国・地域映像紹介**

●7/25（土）10:00～19:30
7/26（日）10:00～19:30
7/27（月）10:00～17:30
**民族料理展**
（有料）
アジア料理実演・販売／アジアのお弁当／アジアのおやつ／アジアのジュース

**アジアンバザール**
参加各国・地域お土産品／装飾品／民芸品等

●7/25（土）9:30～19:00
7/26（日）9:30～19:00
7/27（月）9:30～17:00
**アジアンキッズマーケット**
リサイクルマーケット
アジアン物産フェア

**お問い合せは　C.I.O.F.F.アジアこどもフェスティバル実行委員会事務局（県庁生活文化総務課）☎（0734）41-3980・2052　http://www.vaw.ne.jp/asia**

主な記事

2面　和歌山大学の新しい試み
3面　拝啓県民のみなさまへ
3面　高齢者すこやかライフ便利帳③
3面　ハワイからの手紙
4面　きのくにアウトドアスポーツフェア
4面　同和連載
5面　夏休み特集
6～7面　お知らせ
8面　わかやま北南ニュース
8面　和歌山魅力再発見㉑
8面　南紀熊野体験博ニュース
8面　和歌山県写真コンテスト

古紙配合率80%再生紙を使用しています。

# 地域に根ざしたふるさとの大学をめざして

## ～和歌山大学の新しい試み～

和歌山大学は、昭和24年の創立以来、ふるさとの国立大学として県民の皆さんに長年親しまれ、また多くの地元卒業生を輩出してきました。

一方、国際化、情報化、産業構造の変化や高齢化など社会が複雑多様化する中で、大学は、高度な教育・研究機関であると同時に、多様な年齢層と職業の人々に学ぶ機会を提供することが求められています。

今、和歌山大学では、ふるさと和歌山に根ざし、地域に開かれた大学をめざして、様々な取り組みが始まっています。



## 地域と共同研究

### システム工学部がいよいよ始動

県では、県内各界の参画による「和歌山大学総合大学化促進期成同盟会」を結成し、和歌山大学の総合大学化とその充実のため様々な形での応援を行っています。

その成果が実り、平成7年10月には従来の教育学部、経済学部に加え、新しく「システム工学部」が誕生し、文系・理系による総合的な学部体制が整いました。

また、昨年8月にはシステム工学部校舎A棟が完成し、教育・研究の環境整備も充実しました。

同学部では意欲的に自治体や地元企業との共同研究や地域との交流に取り組んでいます。

**〈地域との交流による主な研究成果〉**

○果樹生育支援システムに関する基礎的研究（情報通信システム学科）

○農業用ビニールハウスのプラスチックシート溶着加工検査システムの開発（光メカトロニクス学科）

○備長炭の表面の秘密に電子顕微鏡がせまる（精密物質学科）

○加太地区における児童の活動と集落環境との関係についての調査研究（環境システム学科）

技術相談等については、連絡先を記入し、ファックス（0734）57—8375へご連絡ください。

## 産学で地域経済を研究

経済学部では、和歌山県の地域経済と産業の活性化に貢献しようと、平成8年7月に和歌山商工会議所、㈶和歌山社会経済研究所とともに「和歌山地域経済研究機構」を設立し、生涯学習の理念、産学協同による研究を行っています。

平成9年度には、和歌山県、和歌山市の経済市場構造に関する研究、規制緩和などに対する経営戦略に関する研究、紀淡連絡道路の活用に関する研究などが行われました。

# 県民みんなが学生に

地域に開かれた大学をめざし、各種の取り組みが行われています。



## 「生涯学習教育研究センター」がオープン

学問は、学生だけに与えられた特権ではありません。一生を通して日々新しい知識を身につけ、より豊かな人生を送ろうというのが「生涯学習」のねらいです。

今年9月、和歌山市西高松に「和歌山大学生涯学習教育研究センター」がオープンします。センターでは、県民の皆さんを対象に公開講座を開催するなど、大学に蓄積する研究の成果を広く地域社会に提供します。

**創設フォーラム**

テーマ「現代教育改革と生涯学習―生涯学習時代における大学への期待―」

日時　平成10年8月25日（火）午後1時～

場所　きのくに志学館メディアアートホール

定員　100人（先着順）

受講料　無料

申込方法　往復ハガキに住所、氏名、連絡先を記入し、〒641―0051　和歌山市西高松1丁目7番1号　和歌山大学生涯学習教育研究センター事務係へ

くわしくは、☎（0734）27―4623へ

## 公開講座

「芸術に親しもう」
和歌山大学内

「インターネットと高度情報化社会」　7月
学内

「スクールリーダーのための教育講座」　8月
大学内

「ザ・改革～一歩進んだ新常識～」　9月～10月　白浜町

「子どもとともに大人（親・教師）も育つ」　10月～12月　岩出町

参加方法などくわしくは、教育学部学務係☎（0734）―7216へ

「21世紀社会における企業の倫理性と社会性」　9月～10月　きのくに志学館

参加方法などくわしくは、経済学部庶務係☎（0734）57―7607へ

## 修士をめざすサラリーマン

和歌山大学大学院経済学研究科（修士課程）では、従来から社会人特別選抜を実施してきましたが、昨年度から夜間に学べる「プロフェッショナルコース」を開設しています。このコースには、会社員、公務員、教員などを対象に、地域マネジメント、ビジネス・プロフェッショナル、市場アナリストの3つのコースを設け、幅広い年齢の学生が働きながらそれぞれの社会経験を生かした研究を続けています。

## 大学間のネットワークづくり

**単位も取れる**

国立の和歌山大学、公立の県立医科大学、私立の高野山大学。昨年11月、この3つの大学間で、交流協定が調印されました。主な交流事業は、他大学での単位の取得、教育者の相互派遣、公開講座などの生涯学習の実施、学生の部活動交流などです。

国、公、私の大学による交流協定は全国初で、また、教育・経済・システム工学部をもつ和歌山大学に対し、県立医科大学は医学部、高野山大学は文学部の単科大学で、互いに異質な大学の組み合せも個性的です。

今後、交流メニューも具体化されますが、地域における新しい大学のあり方がまたひとつ見えてきそうです。

**3大学共同公開講座**

テーマ「高齢者の健康と福祉を地域で支える」

日時　平成10年9月19日（土）、26日（土）、10月3日（土）、17日（土）　午後1時30分～午後4時30分

場所　県立医大附属病院別館7階大講堂

定員　150人

受講料　無料

申込先　和歌山大学生涯学習教育研究センター☎（0734）27―4623

申込方法などくわしくは、申込先へ

**地域からの相談窓口**
和歌山大学企画広報室
☎（0734）57―7021
ファックス（0734）57―7020

# 拝啓 県民のみなさまへ

七夕の夜、星に思いを寄せるのも良いものです。

一つ一つ独立した星達がハーモニーを醸し出し、星座を形づくる。その星座を生み出した、いにしえ人の想像力に感じ入ります。

「地域連携」という言葉があります。今春策定された「新しい全国総合開発計画」にも位置づけられた、これからの地域づくりを考えていくうえでのキーワードです。府県や市町村といった既存の枠にとらわれずに、それぞれの地域の魅力や特性を生かした広域的な取り組みが、ぜひとも必要です。

先月開催しました「紀伊半島知事会議」では、三重、奈良、和歌山三県に共通する広域的課題への連携強化について活発な議論を交わしました。また、今月6日、本県で開催する「紀泉サミット―紀泉フォーラム21―」には、私の呼びかけにお応えいただき大阪府の山田知事さんをはじめ、各界の関西を代表する方々をお迎えして、紀泉地域の将来を考える予定です。関西国際空港が立地する紀泉地域は、世界の玄関口として海外との連携も視野に入れる必要があるでしょう。また、太平洋新国土軸や紀淡連絡道路の計画を進めるには、東海から四国、九州との連携も考えなければなりません。星座ならぬ地域連携軸を形づくることから新しい故郷(くに)づくりをめざしたいと思います。



紀伊半島知事会議後、大滝ダム建設現場を視察する三県知事

子ども達が楽しみにしている夏休みはもうすぐです。和歌山の夏休みは「アジアこどもフェスティバル」で始まります。アジアの次代を担う星達、元気いっぱいの子ども達との出会いを楽しみにしています。

和歌山県知事 西口勇

## 高齢者すこやかライフ便利帳③

今回は、老人福祉施設の種類とサービス内容等についてご紹介します。

**Q どのような施設がありますか。**

**A** 特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、介護利用型軽費老人ホーム（ケアハウス）などの老人福祉施設があります。

**Q どのようなサービスが受けられるのですか。**

**A** 特別養護老人ホームでは、入所者の生活の場として、必要な常時の介護、食事、入浴などの日常生活のお世話が行われます。また、レクリエーションや生活向上のための指導も行われます。

養護老人ホームでは、入所者の生活の場として、食事、入浴などの日常生活のお世話が行われます。また、レクリエーションや生活向上のための指導も行われます。

軽費老人ホームでは、食事が提供されるほか、各種レクリエーションなどの余暇活動や機能の回復、入所者の状態によっては必要な身の回りのお世話などが行われます。

ケアハウスでは、入所者の生活相談などに応じたり、入浴、食事の提供や緊急時の対応を行います。また、入所者が介護を必要とする状態となった場合には、ホームヘルプサービスなどの在宅福祉サービスを利用して、できる限り自立した生活が送れるよう配慮されています。

**Q 入所できるのはどういう方ですか。**

**A** 特別養護老人ホームは、65歳以上（65歳未満で、特に必要があると認められた方も含みます）で、身体上または精神上著しい障害があるために常時の介護を必要としている方で、自宅において介護を受けることが困難な方が対象となります。

養護老人ホームは、65歳以上で、身体上または精神上の理由により自宅での生活が困難な方や、住宅に困窮しているなどの理由により自宅で生活することが困難な方が対象となります。

軽費老人ホームは、60歳以上（夫婦で入所する場合はどちらかが60歳以上）で、家庭環境、住宅事情などの理由により居宅において生活することが困難な方が対象となります。

ケアハウスは、60歳以上（夫婦で入所する場合はどちらかが60歳以上）で、自炊できない程度の身体機能の低下があるか、または高齢などのため独立して生活するには不安がある方で、家族による援助を受けることが困難な方が対象となります。

**Q 費用はどのくらいかかるのでしょうか。**

**A** 特別養護老人ホームや養護老人ホームでは、入所者本人や扶養義務者の所得に応じて費用を負担していただくことになります。

軽費老人ホーム（ケアハウスを含む）の利用料は、食費や光熱水費などの生活費（ケアハウスの管理費）は自己負担となりますが、事務費は入所者の負担能力に応じて軽減されます。

**Q どこに申し込めばいいのでしょうか。**

**A** 特別養護老人ホームや養護老人ホームへの入所については、市町村の老人福祉担当課及び在宅介護支援センターへご相談ください。入所する程度の状態にあるかどうかについては、市町村で決定されます。

軽費老人ホーム（ケアハウスを含む）では、利用者とその施設の施設長との契約になりますので、直接施設に申し込んでください。なお、所在地などについては、県または市町村の老人福祉担当課及び在宅介護支援センターにおたずねください。

## ハワイからの手紙

### 海外の県人会からお寄せいただきました

# オアフ島に眠る先人達―南紀産の慰霊碑―

ハワイ和歌山県人会から

ハワイ県人会では、県人会の特別事業として、物故者の慰霊碑を建立しました。

この事業は、1975年の天皇皇后両陛下のご訪米を記念して計画したもので、ハワイ全島の県人物故者の内、不幸にして無縁となられた97霊をオアフ島マキキ墓地に集め、慰霊碑を建立することにしました。碑石は多数の会員の意見により、南紀産を用いることとし、碑文のご揮毫と併せて碑石の手配をも、当時の仮谷知事にお願いいたしました。

日ならずして、碑文とともに巨大な碑石が送られて参りました。1977年3月に慰霊碑完成除幕式を会員多数参加のもとに行いました。その後、毎年の盆供養と彼岸及びメモリアルデーに、あるいはそれぞれ随時に墓参・供花して、碑の保全に努めています。



また、1980年5月に故仮谷知事ご訪米の節には、お立ち寄り願い、盛大な歓迎会を営みました。

略史

1908年
三田村敏行医師を中心として和歌山県人会が発足した。しかし、何らかの事情により、幾ばくもなく消滅してしまったという。

1925年
再び会結成の動きが起こり、三田村為太郎医師のもとに150人余りの会員が集った。以来、1941年日米戦争の勃発に至るまで続いたが、やむなく解散。

1948年
第3次県人会が発足し、初代会長に滝本邦三郎氏が選ばれた。その後、戦後国籍を回復して、再渡米してきた人達、並びに呼び寄せ・婚姻による移住者を加え、15年目には約170家族の会員を要するに至った。ちなみにこれを出身地別に見てみると次のようになる。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 紀南 | | | | 51 |
| その他 | | | 34 | |
| ハワイ（2・3世） | | 72 | | 計157 |
| うち、親の出身が紀南のもの | 47 | | | |
| その他のもの | 25 | | | |




その後の新規渡航者は極めて少なく、1・2世会員の死亡と超高齢化、日本語を解する2・3世者の引退等で、現在会員は約100家族程度となっている。

今年は、県人会復活50年の節目に当たりますので、ささやかなりとも記念行事を行い、会の活性化の道を探りたいと考えています。

連載コラム⑧

# 情報化新時代



和歌山大学経済学部助教授／和歌山県情報化推進協議会幹事長 佐藤 周

21世紀は、本格的な「情報化」社会が到来するといわれています。このコーナーでは、毎月、専門の方々からのご意見・ご提言を紹介します。

県民の皆さん一人ひとりが、時代の変化を読みとるご参考にしていただければ幸いです。

インターネットの利用者は世界中で2億人、日本国内でも1千万人に近づいています。利用者の広がりを加速しているのはハード、ソフトの両面にわたる情報通信分野の技術進歩ですが、現在の社会システムはこれを十二分に活用してはいません。

和歌山では、自然環境を活かした観光産業の育成、医療・福祉・介護サービスの充実、広範な県土での多様な教育サービス提供などが大きな課題ですが、新しい社会システムの基本的な構成要素として、また、より多くの人の知恵を集約し、ローカルな話題をグローバルに議論しながら解決していくためのコミュニケーションのツールとして、最大限に利用することが重要です。

JAPAN EXPO リゾートピアわかやま'99 南紀熊野体験博プレイベント

# きのくにアウトドアスポーツフェア

*「学ぶ」をテーマにした、自然と人間・愛・和歌山を探求する21世紀へのイベントです。*



## ファミリーキャンプ&スポーツ

地域の特徴を生かした創作活動やスポーツを家族で体験。

**A　清水町**　8月4・5日(1泊2日)
**宿泊**　町内の民宿
**定員**　5人家族9組
**費用**　高校生以上2,000円、小・中学生1,000円(体験教室及びスポーツの経費は別途必要)
木工・和紙づくり、パターゴルフ、ローラーブレイドなど。ソフトテニスの指導を一流選手が行います。温泉もあります。

**B　美里町**　8月7・8日(1泊2日)
**宿泊**　セミナーハウス未来塾
**定員**　4~6人家族12組
**費用**　高校生以上2,000円、小・中学生1,000円
川遊び、伝承あそび(けん玉・こま等)、星の観察、ゲートゴルフ、ペタンクなど。

**C　本宮町**　8月24・25日(1泊2日)
**宿泊**　渡瀬キャンプ場みどりの広場
**定員**　5人家族10組
**費用**　高校生以上1,000円、小・中学生500円
熊野古道ハイキング、キャンプファイヤー、露天風呂づくり、川遊びなど。食事は家族ごととなるため、食材等の準備が必要です。スコップ持参。

**D　古座町、串本町**　8月28・29日(1泊2日)
**宿泊**　荒船地内キャンプ場
**定員**　4人家族15組
**費用**　高校生以上2,000円、小・中学生1,000円
荒船海岸ハイキング、ビーチバレーボール(橋杭海岸)、グラウンドゴルフなど。
※ 1日目の昼食、健康保険証を持参してさい。
※ 参加者は小学生以上で、各家族に小・中学生を含むこと。知人、友人の参加も可。
※ 参加費は当日受付時に徴収します。不参加時にはキャンセル料が必要です。
※ 雨天時には内容の変更があります。なお、台風等荒天時の場合は中止とし、参加者に連絡します。
**申込**　往復はがきに、コース、参加者全員の氏名(責任者に○印)、続柄、性別、年齢、住所、電話番号を記入し、7月15日(消印有効)までに、〒640−8585県教育委員会保健体育課　きのくにアウトドアスポーツフェア実行委員会へ
希望者多数の場合は抽選し、7月20日頃通知します。
くわしくは申込先 ☎(0734) 41−3692へ



## きのくにアウトドアスポーツ写真コンテスト

豊かな自然に恵まれた、和歌山県の各地域で展開されるアウトドアスポーツを大いにアピールする写真を募集。優秀作品は、県立体育施設に展示。
**資格**　高校生以上
**規格**　平成8年以降に撮影した未発表の個人作品。六つ切り以上大四つ切りまで。カラー・白黒問わず。組写真不可。なお、作品の裏面にタイトル、撮影日時、撮影場所、住所、氏名、年齢、職業(勤務先又は学校名)、電話番号を記入。
**賞**　グランプリ(10万円・賞状)1点、最優秀賞(5万円)2点、優秀賞(3万円)2点、佳作(1万円)10点。受賞作品の著作権は県に帰属し、受賞の通知があり次第、ネガ・ポジを提出願います。
**応募・問合せ先**　〒640−8585　県教育委員会保健体育課内きのくにアウトドアスポーツフェア実行委員会写真コンテスト係 ☎(0734) 41−3696へ

## きのくにアウトドアスポーツ指導者育成研修会

県内外のアウトドアスポーツ指導者や愛好者を対象に研修を行い、今後の普及振興に寄与する指導者を育成します。
**A　8月6~8日(2泊3日)高野町~熊野川町**
パラグライダー、キャンピング、アウトドアクッキング、滝めぐりなど
**B　8月7~9日(2泊3日)由良町~中辺路町**
スキューバダイビング、キャンピング、アウトドアクッキング、熊野古道ウォークなど
**定　員**　各コースとも県内25人、県外10人
**参加費**　5,000円
申込方法などくわしくは、県教育委員会保健体育課内きのくにアウトドアスポーツフェア実行委員会 ☎(0734) 41−3691へ

---

同和連載

# 良心

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。
子どもたちがそれぞれの生活の中で素直に見つめた「人権」へのまなざし。
私たち大人への呼びかけです。　(平成9年度入選作品)

粉河町　長田小学校　5年　畑　陽子

私が好きな言葉の一つに、「良心は必ず勝つ」と言うのがあります。良心とは、人間だれでも持っている悪いことをせず良いことをしようとする心のことです。その良心は、いじめをしている人にもあるし、いじめられてる人にもある。そして周りで見ている人にもあります。それとは反対に、悪いことをしようとする悪心というのがあります。いじめは、この悪心が働いてしまうことだと思います。でもその時、その人の心は心がいたんでいるはずです。それは、良心はいたんでいるのです。それと同じように、いじめを周りでしらんぷりしている人の心もいたんでいるはずです。「私は悪いことなんてしていないから心がいたむ理由なんてない。」と自分に言い聞かせてもやはり、良心はいたんでいるのです。それに、この悪心が働いてしまうことだと思います。でもその時、その人の心は心といたんでいるはずです。それは、良心がいたんでいるのです。それと同じように、いじめを周りでしらんぷりしている人の心もいたんでいるはずです。「私は悪いことなんてしていないから心がいたむ理由なんてない。」と自分に言い聞かせてもやはり、良心はいたんでいるのです。それに、この悪心が働いてしまうことだと思います。でもその時、その人の心は心といたんでいるはずです。それは、良心がいたんでいるのです。それと同じように、いじめを周りでしらんぷりしている人もいじめをしている人といっしょになっているのです。
私はこう思います。けんかをしてかぎりは、治ります。でも、心に一度ついた体のきずは、よっぽどでないかぎりは、治りません。だから、いじめられている人の心のきずは、大人になってもけっしてきえることはありません。それと同じように、いじめている人の心もずっといたんだままでしょう。大人になってから「ああ、あのときあの子をいじめていなければ。」とこうかいしてもおそいのです。
だから、今、いじめをしている人は、今すぐにでもやめるべきです。それから、周りでしらんぷりをしている人は、心の中で出番をまっている良心を見つめ直してはどうでしょう。そして、少し勇気を出して、「やめなよ。」の一言でも言えれば、あなたの良心は、今よりもっと美しく光がやくでしょう。そして、いじめられている人は、勇気をふりしぼっていじめをしている人にたちむかってみてはどうでしょう。もし、それができなければ、友達にでも、先生にでも、家族にでもだれでもいいからそうだんしてみてはどうでしょう。
そうすれば、必ずみんなが味方になってくれますから。そうなれば、いじめをしている人にも勝てるかもしれません。いいえ、ぜったいに勝てます。
いじめをしている人も、いじめられている人も、いじめを周りでしらんぷりして見ている人も、そうするのがいいと思います。自分の良心をこれ以上きずつけないためにも、自分の良心をもっと美しくかがやかせるためにもこれが一番とは言えないかもしれませんがいい方法なのです。私は、だれかがいじめられていたりしたら、きっとだまってしらんぷりしていたと思います。でもこれからは、そんなことがないようにしたいです。そうして一人ひとりが、がんばれば、きっといじめのない明るい世界になっていくでしょう。

---

# 7月は「愛の血液助け合い運動」月間

血液は皆さんの「善意の献血」によってのみ得られる有限なものです。愛の献血にご協力お願いします。

JR和歌山駅前献血ルーム(和歌山市美園町)が平成6年4月にオープン以来、献血者数が5万人を突破。献血者の中から抽選で200人に記念品をプレゼントする「献血ルーム5万人感謝キャンペーン」を7月31日まで実施中。
くわしくは県赤十字血液センター ☎(0734) 55-6613へ



5万人目の献血者の方

# 夏休み特集2

## 自然観察会

● **海中観察会**　シュノーケルの技術講習後、海中探索。
**日時**　7月20日午前9時～午後4時
**場所**　串本海中公園（串本町）
**対象**　満18歳以上の健康な方　**定員**　25人

● **水辺の自然観察会**
～ゆかし潟「水辺の観察ウォッチング」～
**日時**　7月23日午前9時～正午
**場所**　ゆかし潟（那智勝浦町）
**対象**　一般（小学3年生以下は保護者同伴）
**定員**　30人

● **磯の自然観察会**
カニなどの観察、植物観察、ハゼ釣りなど。
**日時**　7月24日午前9時～正午
**場所**　孔島・鈴島（新宮市）
**対象**　一般（小学校3年生以下は保護者同伴）
**定員**　30人
※参加費はすべて100円。申込は7月17日まで。
**問合せ**　〒647－0043新宮市新宮緑ヶ丘2－4－20環境庁近畿地区国立公園・野生生物事務所 ☎（0735）22－0342、ファックス（0735）23－1344へ

## 水辺観察会 ～わくわくウォッチング'98inしみず～

有田川の水生生物を観察し親子で自然に親しんでください。
**日時**　7月29日午前10時30分～
**場所**　ふるさとふれあいの丘スポーツパーク（清水町）
**対象**　小・中学生とその保護者（小学生には必ず同伴）
**定員**　70人（先着順）
**申込**　ハガキに住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号を記入し7月21日までに県庁地域環境課へ
くわしくは申込先へ



## アジアこども映画祭前売り券

**会　場**　わかやま館ドームシアター（和歌山市）
**発売所**　和歌山県民文化会館・わかやま館・和歌山ビッグホエール・和歌山市内各映画館
**問合せ**　和歌山県興行協会☎(0734) 31－8246まで
**料　金**　【A～D】大人1，000円、5～18才・60才以上・障害者500円
【E】大人1，200円、5～18才・60才以上・障害者600円
※開演時間から10分をすぎますと、ご入場をお断りする場合があります。

| | | |
|---|---|---|
| 7月25日 | A | ・草原の愛（モンゴル）午前10時～ |
| | B | ・とべないホタル（日本）正午～<br>・鹿鈴（中国）午後1時35分～<br>・クルタ（オーストラリア）午後1時55分～ |
| | C | ・風の丘を越えて（韓国）午後3時40分～ |
| 7月26日 | D | ・太陽の少年（中国）午前10時～ |
| | E | ・忘れられた子どもたち（フィリピン）午後0時20分～　四ノ宮浩監督舞台挨拶<br>・ガンガー（インド）午後2時20分～　鈴木健介監督舞台挨拶<br>・両監督対談「アジアの子どもたち」 |

## ペアーキャンプ

料理、ナイトミステリーツアーなど。
**期日**　8月25・26日（1泊2日）
**会場**　紀北青年の家（かつらぎ町）
**対象**　小学4年生以上高校3年生以下。2人1組で10組
**費用**　高校生2，700円、小・中学生2，500円
**申込**　7月25日午前9時から電話で会場　☎（0736）22－5530へ（先着順）
くわしくは申込先へ

## パシフィック・ファミリーキャンプ IN 潮岬

本州最南端潮岬で、7・8月の毎土・日曜日に1泊2日でキャンプできます。チェックインは午後1時から、チェックアウトは午前11時まで。食事は各自で調達。
**対象**　小・中・高校生を含む家族
**費用**　キャンプ村使用料　小・中学生110円、その他230円
**申込**　利用の1週間前までに電話で、潮岬青年の家 ☎（0735）62－0182へ（先着順）
くわしくは申込先へ

## '98ファミリーキャンプのつどい

バーベキューとスモークチーズ作り、天体観測など。
**期日**　8月22・23日（1泊2日）
**会場**　白崎少年自然の家（由良町）
**対象**　県内在住の小・中学生とその家族15組（希望者多数の場合抽選）
**費用**　約3，000円
**申込**　8月5日午後5時までに住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数を電話で会場 ☎（0738）65－2351へ
くわしくは申込先へ

## 紀州っ子遊びのくに

県内各地の子ども達が集まり、仲間作り。
**期日**　8月19～22日（3泊4日）
**会場**　白崎少年自然の家（由良町）
**対象**　県内在学の小学5・6年生、中学生150人（希望者多数の場合抽選）
**費用**　7，000円
**申込**　往復ハガキに住所、氏名、保護者氏名、電話番号、学校名、学年、性別を記入し、7月17日（必着）までに各市町村青少年担当課（和歌山市は県庁青少年課）へ
くわしくは県庁青少年課へ

## ひとり親家庭ふれあい県政教室

バスを利用し、県の施設等を見学します。
**期日**　8月22・23日（1泊2日）
**場所**　白浜町
**対象**　原則として小学4～6年生の児童を扶養している県内のひとり親家庭親子
**費用**　親と子2人1組5，000円（子1人増につき1，000円加算）
**申込**　7月末日までに各県福祉事務所（和歌山市は市児童家庭課）へ
くわしくは申込先へ

## 喘息サマースクール

喘息でお困りの児童・生徒に対して、遊びや運動等の体験を通して正しい知識・対処法を身につけていただきます。
**期日**　8月2～4日（2泊3日）
**場所**　国立療養所和歌山病院、みはま養護学校（美浜町）
**対象**　県内在住の小・中学生40人
**費用**　15，000円
申込などくわしくは国立療養所和歌山病院☎（0738）22－3256、みはま養護学校☎（0738）23－2379へ

## 古代体験ラリー

勾玉（まがたま）作り、竪穴住居で遊ぶなどの体験をし、スタンプを押していきます。10個集まると修了証を渡します。



**日時**　7月26日午後1時～
**場所**　紀伊風土記の丘（和歌山市）
**対象**　小学4～6年生とその保護者35組（希望者多数の場合抽選）
**費用**　小学生458円、保護者170円
**申込**　往復ハガキに学校名、学年、氏名、保護者名、住所、電話番号を記入し、7月10～20日に〒640－8301和歌山市岩橋1411紀伊風土記の丘資料館へ

## 特別展　琉球列島の昆虫

県立自然博物館（海南市）



アオスジ
コシブトハナバチ

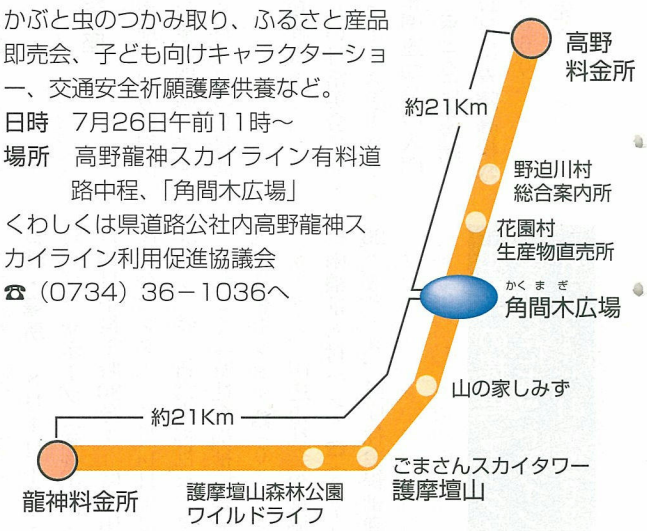
東洋のガラパゴスと表現される琉球列島には、5，000種以上の昆虫が発見されています。和歌山県にはこの琉球列島と共通の種が数多くみられます。琉球列島の昆虫を紹介しながら、紀伊半島との関連性を紹介していきます。
**期間**　7月19日～8月30日
月曜・祝日休館（祝日が月曜の場合はその翌日）

## '98年金ポスターコンクール

**対象**　県内通学の小・中学生
**規格**　四つ切り画用紙使用。「国民年金」（または「こくみんねんきん」）の文字を必ず入れてください。1人1点。
**応募**　各学校でとりまとめ、9月10日までに最寄りの社会保険事務所へ
くわしくは県庁国民年金課へ

## 「高野龍神スカイライン サマーフェスティバル」

かがやく太陽、青い山なみ、あふれる笑顔をゲット！
かぶと虫のつかみ取り、ふるさと産品即売会、子ども向けキャラクターショー、交通安全祈願護摩供養など。
**日時**　7月26日午前11時～
**場所**　高野龍神スカイライン有料道路中程、「角間木広場」
くわしくは県道路公社内高野龍神スカイライン利用促進協議会
☎（0734）36－1036へ




◎雨天の場合は中止になることもあります。

# INFORMATION おしらせ

県庁・県教育委員会への郵便は　〒640-8585○○○課あて　電話は☎(0734)32―4111
「県民の友」もご覧になれる和歌山県のインターネットホームページはhttp://www.wakayama.go.jp/

## 募集

### 県営住宅入居補欠者

**下富安団地**＝4戸、**藤田団地**＝6戸、**第二吉田団地**＝3戸（すべて御坊市）
**用紙配布**　7月13～28日に各振興局建設部（海草を除く）、県庁住宅課
**受付**　7月29・30日午前10時～午後4時に日高振興局建設部へ
くわしくは日高振興局建設部☎(0738)22―3111へ

### 特定公共賃貸住宅入居者

**ニューかわなが団地**（和歌山市）
3LDK＝2戸、4LDK＝2戸
**家賃**　64、100円～108、000円まで
**資格**　家族全員の所得月額合計が20万円～60万円まで
※4LDKは、4人以上の世帯で、50才以上の方が1人以上入居する必要があります。申込は先着順です。
くわしくは県住宅供給公社☎(0734)25―6885へ

### 宅地分譲

**紀伊団地**（和歌山市）＝1区画
**面積**　288・06㎡
**価格**　3、137万円
**申込**　7月21～24日に県土地開発公社管理課へ
くわしくは申込先☎(0734)28―1034へ

### ふるさと建築景観賞

県内の美しい建物（概ね過去5年以内に完成）や素敵なまちなみをご推薦ください。※国や県の施設除く
**推薦用紙**　各市町村、各振興局建設部（海草を除く）
**締切**　7月31日
くわしくは県庁建築課内事務局へ

### 樹木医になってみませんか

巨樹・古木が衰弱したとき、診断・治療を行う仕事です。
**対象**　7年以上、樹木に関わる業務に従事している方
**締切**　7月17日
**資料請求**　〒107―0052赤坂1―9―13三会堂ビル2階(財)日本緑化センターへ
くわしくは県庁森林整備課へ

### ❶心の輪を広げる体験作文 ❷障害者の日のポスター

❶障害のある人とない人との心のふれあいの体験を綴ったもの
**規格**　400字詰め原稿用紙（B4縦書）で小・中学生は2～4枚、高校・一般は5～8枚。未発表のもの1編
❷障害者に対する理解を促進し、障害のある人とない人の間の相互理解を促進するもの。中学生部門は障害者理解のための標語又は文字を入れ、小学生部門は入れなくてもよい。
（12月9日は障害者の日」は使用不可）
**規格**　原則として画用紙B3又は四つ切りを縦長に使用。
**応募**　住所、氏名（ふりがな）、生年月日、学校名（学年）、電話番号を記入した用紙を添付し、9月8日（必着）までに県庁障害福祉課へ
くわしくは応募先へ

### 要約筆記ボランティア説明会

難聴や中途失聴などの障害のある方のための要約筆記に関する説明会。
**期日**　8月6日、9月3日、10月1日　いずれも午後2～4時
**場所**　県身体障害者総合福祉会館（和歌山市）　**受講料**　無料
**申込**　開講日の4日前までに和歌山要約筆記会☎(0734)45―0881、県身体障害者連盟☎(0734)23―2665へ
くわしくは申込先へ

### 「社会を明るくする運動」標語

**テーマ**　○犯罪や非行の防止　○犯罪者の更正
**応募**　ハガキ1通に1作品。氏名、住所、電話番号、学校名・勤務先、年齢、性別を記入し、7月31日までに千代田区霞ヶ関1―1―1法務省広報室へ（「社明標語」と朱書）
くわしくは応募先☎(03)3580―4111（内線2052）へ

### 紀州若者塾

「仲間をつくる」をテーマに地域リーダーを育成します。
**期間**　9月19・20日（1泊2日）
**場所**　美里町立「セミナーハウス未来塾」
**対象**　18～40歳の県内在住の方
**定員**　50人（希望者多数の場合選考）
**申込**　7月31日までに各市町村青少年担当課へ
くわしくは県庁青少年課、各振興局県民行政部総務課へ

### 県優良土産品推せん審査会への出品

**実施日**　11月27日
**対象**　県内で生産加工の土産品（販売開始から1年以上経過のもの）
**申請**　所定の申請書により、8月25～27日に各振興局地域行政課（和歌山市は市観光課）へ
くわしくは県庁観光課、申請先へ

### 再就職希望女性の技術講習会

**科目・場所**　①社会保険労務事務・和歌山市②パソコン・川辺町
**期間**　①9月3日～11月19日の火・木②9月4日～10月6日の月～金
**定員**　各20人
**申込**　8月3～5日に、①女性就業援助センター☎(0734)33―1181②川辺町産業経済課☎(0738)22―1700へ
くわしくは申込先へ

### 交通安全ファミリー作文

皆さんの家庭、学校、職場などで交通安全について考え、話し合った内容や方法、実行していることなど、交通安全につながる日常の会話や独自の工夫、慣行などの実践例を作文にしてください。
応募要領などくわしくは県庁県民生活課へ

### 生活教養講座（木曜教室）

暮らしに役立つ基礎的知識を修得していただきます。「衣・食・住・暮らしの法律」など10講座。
**期間**　7月16日～9月24日の木曜日（8月13日は休み）午後1時30分～
**場所**　県消費生活センター（和歌山市）
**定員**　50人（先着順）　**費用**　無料
**申込**　電話で県消費生活センター☎(0734)33―1551へ
くわしくは申込先へ

### 古文書講座（受講無料）

**期間**　7月25日、8月8・22・29日、9月5日の5回
**場所**　きのくに志学館（和歌山市）
**定員**　初級＝60人、中級＝60人（希望者多数の場合抽選）
**申込**　ハガキに郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望コースを記入し、7月17日までに〒641―0051和歌山市西高松1―7―38県立文書館へ
くわしくは申込先☎(0734)36―9540へ

### 図書館ボランティア養成講座

**期間**　9月9日～12月16日に12講座
**場所**　きのくに志学館（和歌山市）
**対象**　県内でボランティア活動のできる成人　**定員**　20人
**申込**　往復ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、動機、ボランティア経験の有無を記入し、8月4日までに〒641―0051和歌山市西高松1―7―38県立図書館へ
受講料などくわしくは申込先☎(0734)36―9500へ

### 手作り紙芝居コンクール

**対象**　県内在住・通学・通勤の個人又は団体
**応募**　9月5日までに〒641―0051和歌山市西高松1―7―38県立図書館へ郵送又は持参
※11月3日に入選作品を自演後、優秀作品を表彰します。
作品の規格などくわしくは応募先☎(0734)36―9500へ

### 新設養護学校名

平成11年4月、和歌山市弘西に小・中・高等部の知的障害児童生徒及び肢体不自由児童生徒を対象とした養護学校が開校の予定です。この学校にふさわしい名前を募集します。
ハガキに新設学校名（1通につき1校名）とその説明、氏名、年齢（学校名、学年）、住所、電話番号を記入し、7月24日（必着）までに県教育委員会学校教育課内新設養護学校開校準備室へ
くわしくは応募先☎(0734)31―7262へ

### 社会人夏季公開講座

生涯学習の機会を地域の方に提供するため社会人を対象に開講します。
**期間**　7月22日～8月4日の10日間　午後6～9時
**場所**　青陵高校（和歌山市）
**科目・定員**　やさしい日常英会話＝30人、情報処理「ロータス1―2―3・一太郎・情報関連知識の入門（基礎）編＝20人　※ともに先着順
**申込**　7月13～17日に青陵高校☎(0734)22―5660へ
くわしくは申込先へ

### 海外アンテナショップ（物産展）商品出展者

11月7～15日に米国西海岸の量販店7店で展示販売（商品の出展のみ）、実演販売（出展者が参加）を実施。
**対象**　食品、日用雑貨等スーパーマーケットでの販売に適した商品
**申込**　7月17日までに県庁商工振興課、各振興局地域行政課へ
※8月上旬に出展商品・数量を確定、9月上旬（船便）10月下旬（航空便）に和歌山市内で集荷の予定。
くわしくは県庁商工振興課へ

## ごあんない

### Uターンフェア開催

Uターン就職希望者と企業との面談や職業安定所による職業相談など。
**日時・場所**　8月13日・和歌山ターミナルホテル（和歌山市）、ガーデンホテルハナヨ（田辺市）、8月14日・御坊市民文化会館、8月15日・新宮地域職業訓練センター　いずれも午後1時～
くわしくは県庁職業安定課、最寄りの公共職業安定所へ

### 福祉職場就職相談会

**日時・場所**　8月1日午後1～4時・プラザホープ（和歌山市）、7月19日午後1時30分～3時・田辺市民総合センター、8月14日午後1時30分～3時・新宮市福祉センター
くわしくは県社会福祉協議会福祉人材情報センター☎(0734)32―8189、田辺市社会福祉協議会紀南福祉人材バンク☎(0739)26―4918、県庁社会福祉課へ

知事への提言ファックス「きのくにホットライン」(0734)41―2020

平成10年 7月

10(金) 11(土) 12(日) 13(月) 14(火) 15(水) 16(木) 17(金) 18(土) 19(日) 20(月) 21(火) 22(水) 23(木) 24(金) 25(土) 26(日) 27(月) 28(火) 29(水) 30(木) 31(金)

1(水) 2(木) 3(金) 4(土) 5(日) 6(月) 7(火) 8(水) 9(木)




## 広報誌「W―ing（ウィング）」第6号ができました

「育て元気印！和歌山の農業」をテーマにした特集。本県の新しい農業をリードする「担い手＝元気印」を紹介します。

県庁広報広聴課または各振興局県民行政部総務課でお渡しします。郵送ご希望の方は、住所、氏名を記入し、切手200円分を同封し、県庁広報広聴課へ。

くわしくは県庁広報広聴課へ

## 「夏の子どもをまもる運動」（7月～8月）～みんな そろって すこやかに～

夏休みは、子どもたちの自主性、社会性を養い、健康ですぐれた心身を培う絶好の機会です。その反面、解放感から非行に陥ったり、また水の事故、交通事故が増える時期でもあります。

このような事故を防止し、非行の芽を摘み取り、すべての子どもたちが、明るく・正しく・たくましく育つことを願い、この運動を展開します。

この夏が、子どもたちにとって有意義で良い思い出となるよう県民の皆さんのご協力をお願いします。

## 骨髄バンク登録受付

| 登録受付場所 | 受付場所 |
|---|---|
| 和歌山駅前献血ルーム ☎(0734)27―2770 | 毎週火・木曜日 午前10時～正午<br>第2日曜日 午後2～5時 |
| 和歌山県田辺赤十字血液センター ☎(0739)25―0005 | 第3土曜日 午前9時30分～午前11時30分 |
| 高野口保健所 ☎(0736)42―3210 | 第4月曜日 午前9～11時 |
| 湯浅保健所 ☎(0737)63―4111 | 第1月曜日 午前9～11時 |
| 田辺保健所 ☎(0739)22―1200 | 第1水曜日 午後1～2時 |
| 新宮保健所 ☎(0735)22―8551 | 第3月曜日 午前9～11時 |

## ストップ ザ 食中毒 イン なちかつうら

「こうしたら食中毒が予防できる」甲子園大学名誉教授 明橋八郎先生
「楽しくしようヨ 料理のコツ」調理師専門学校 谷口博之先生

**日時** 7月15日正午～
**場所** 那智勝浦体育文化会館

くわしくは県庁生活衛生課、各県立保健所へ

## 事業主の皆さんへ

「障害者の雇用の促進等に関する法律」の一部改正等が行われ、障害者雇用の一層の促進が図られることとなりました。

平成10年7月1日から56人以上規模事業主は1.8％以上の身体障害者又は知的障害者を雇用しなければならなくなりました。

くわしくは県庁職業安定課、公共職業安定所、県障害者雇用促進協会へ

## ご存じですか？介護保険制度

**平成12年4月から介護を必要とする方とその家族を社会全体で支える仕組みとして「介護保険制度」が施行されます。**

**Q 介護保険のサービスを受けられる人は？**
A 65歳以上で介護が必要な方及び40歳から65歳未満で痴呆等、老化による心身の障害を有する方が対象です。

**Q 介護保険のサービスを受けるには？**
A 本人又は家族の方が市町村の窓口で申請を行います。介護認定審査会で認定を受けると、その範囲内で本人の意向により作成される計画によりサービスを受けることになります。

**Q 保険料は？**
A 65歳以上の方の保険料は、市町村ごとに所得に応じて5段階の保険料が設定されます。40歳から65歳未満の方は現在加入している医療保険制度に基づいて保険料が設定され、健康保険料と一括して徴収されます。保険料は所得により額が異なりますが、65歳以上の方は、全国平均で約2,500円（月額）程度の負担と試算されています。

**Q サービスを利用する場合の負担額は？**
A 利用者はサービス費用（在宅サービス費用は6～29万円程度）の1割を負担します。特別養護老人ホームなど施設に入所している場合の食事負担は、医療保険制度と同様に標準負担額を負担していただきます。
また、1割負担が高額になるときは、高額介護サービス費によって負担額の上限を設定します。なお、低所得の方には、上限額を低く設定することになっています。

**Q 保険料や受けられるサービスが市町村により異なると聞いているのですが？**
A 市町村により、介護サービス基盤の整備状況や、介護を必要とする方の人数等の違いにより多少異なってきます。そのため各市町村では、必要となるサービスの実態や、費用等を把握するため本年の10月まで、65歳以上の方に対して実態調査を実施します。調査の結果は介護保険制度がスムーズに実施されるよう、計画づくりに反映されますので、皆さんのご協力をお願いします。

**介護支援専門員（ケアマネージャー）実務研修受講試験実施のお知らせ**

平成12年4月から始まる介護保険制度において、介護が必要な高齢者等の介護サービス計画を作成することを主な業務とする介護支援専門員の実務研修受講試験を平成10年10月4日に実施します。くわしくは県民の友8月号に掲載予定です。

介護保険制度、介護支援専門員実務研修受講試験についてのお問い合せは、県庁福祉保健総務課介護保険準備室☎(0734) 41―2440へ

## 試験

### 県職員採用Ⅱ種・県職員採用Ⅲ種

**期日** Ⅱ種＝9月27日
Ⅲ種＝9月27日
**場所** Ⅱ種＝県立桐蔭高校（和歌山市）、県立田辺工業高校（田辺市）
Ⅲ種＝県立桐蔭高校（和歌山市）、県立田辺工業高校（田辺市）、県立新宮高校（新宮市）
**試験区分及び採用予定人員**
Ⅱ種 土木職＝3人程度、農業職＝1人程度、農業土木職＝1人程度
Ⅲ種 一般事務＝5人程度、土木＝3人程度、農業＝2人程度、農業土木＝1人程度、林業＝1人程度、学校事務＝15人程度、警察事務＝2人程度
**受験資格** Ⅱ種 昭和46年4月2日～昭和54年4月1日までに生まれた方
Ⅲ種 昭和49年4月2日～昭和56年4月1日までに生まれた方。（4年生大学等における在学期間が2年を超える者を除く）
**申込書配布** 県人事委員会事務局、県パスポートセンター、各振興局県民行政部総務課、東牟婁振興局串本建設部総務管理課、県東京事務所、県大阪観光センター、各警察署等
**受付** 8月14～28日に県人事委員会事務局へ
くわしくは県人事委員会事務局へ

### 警察官B（男子）婦人警察官B（女子）採用

**期日** 9月20日
**場所** 県立星林高校（和歌山市）、県立田辺商業高校（田辺市）
**試験区分及び採用予定人員** 警察官B＝15人程度、婦人警察官B＝2人程度
**受験資格** 昭和44年4月2日～昭和56年4月1日までに生まれた方。（4年生大学等の卒業者、卒業見込み者は除く）
**申込書配布** 県人事委員会事務局、各警察署警察本部警務課、各警察署
**受付** 7月31日～8月14日に県人事委員会事務局へ
くわしくは県人事委員会事務局へ

### 消防設備士（甲種全類、乙種全類）

**期日** 9月13日午前9時～
**場所** 受験票に明示
**願書配布** (財)消防試験研究センター和歌山県支部、県消防防災課、各振興局地域行政課
**願書受付** 8月3～6日に(財)消防試験研究センター和歌山県支部に持参（西牟婁郡・東牟婁郡は簡易書留で郵送可）
くわしくは受付先☎(0734) 25―3369へ

### 県工業技術センター研究員

**職種** 繊維機械もしくは生産機械系
**募集人員** 若干名
**資格** 昭和39年4月2日～昭和52年4月1日までに生まれた方
**受付** 7月6日～8月7日
応募方法などくわしくは県工業技術センター総務課☎(0734) 77―1271へ

### 県立図書館紀南分館 開館時間の一部変更

**期間** 7月22日～8月29日
**対象室名** 親と子の図書室
**時間** 火～土曜日午前10時～正午、午後2～5時。8月1日は休館。

### 南紀椿温泉 老人休養ホーム「真静荘」

南紀の名湯、椿温泉の明るい環境の中で、心身共にくつろいでいただけるよう県福祉事業団が設置、運営しています。低料金と新鮮な魚料理で皆さんのご来荘をお待ちしています。ご予約、お問い合せは☎(0739) 46―0314へ

## 融資など

### 中小企業設備貸与資金

中小企業の方に代わり、機械設備を購入、長期割賦で譲渡又はリース。

**一般割賦限度額** 3千5百万円
**ハイテク割賦限度額** 6千万円
**リース限度額** 6千万円
**割賦損料及び償還方法** 年2・95％ 半年据置後4年又は6年の均等半年賦償還
**月額リース料及び償還方法** 3・017％～1・418％ 3～7年の均等月賦償還

なお、同和地区関係中小企業には同和中小企業設備貸与制度が設けられています。くわしくは(財)県中小企業振興公社設備貸与課☎(0734) 32―3412へ

### 中小企業季節融資（夏季資金）

**対象** 県信用保証協会の保証対象となる県内の中小企業者の運転資金
**融資限度額** 1千万円
**融資利率** 年1・6％
**融資期間** 12ヵ月以内
**償還方法** 割賦償還
**申込期間** 6月1日～7月31日
**申込先** 原則として県内に、本・支店がある金融機関
くわしくは県庁商工金融課、各振興局地域行政課へ

## 考えよう 知ろう 語ろう 北方領土

平成10年 8月

| | |
|---|---|
| 1(土) | |
| 2(日) | |
| 3(月) | |
| 4(火) | |
| 5(水) | |
| 6(木) | |
| 7(金) | |
| 8(土) | |
| 9(日) | |
| 10(月) | |
| 11(火) | |
| 12(水) | |
| 13(木) | |
| 14(金) | |
| 15(土) | |
| 16(日) | |
| 17(月) | |
| 18(火) | |
| 19(水) | |
| 20(木) | |
| 21(金) | |
| 22(土) | |
| 23(日) | |
| 24(月) | |
| 25(火) | |
| 26(水) | |
| 27(木) | |
| 28(金) | |
| 29(土) | |
| 30(日) | |
| 31(月) | |

# わかやま北南 NEWS



5月20日に行われた紀の川水防演習

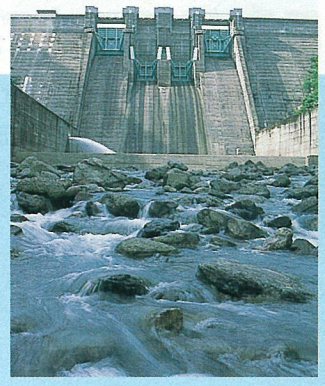
## 県内初のコミュニティFM

白良浜で聞こえます

白浜町に県内初のコミュニティFM局が開局しました。その名は、「FMビーチステーション」。音楽を中心に24時間放送中です。朝、昼、夕には、南紀白浜空港情報をはじめとした地域の話題を豊富に提供する情報&トーク番組が生放送されています。地元出身DJによる方言も織りまぜた楽しく、ノリの良い番組、コーナーがいっぱい。白浜町にお出かけになったら一度お聞きになってはいかが。（白浜町）



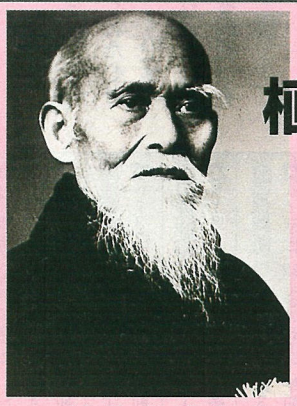
## 清流復活 二川ダムに放流設備



有田川の度重なる水害を抜本的に防ぐため、昭和42年に建設した二川ダムは発電用にも使われており、ダムから発電所の放流口までの6.5キロメートルの間は、ふだんはほとんど水が流れない枯れ川になってしまいました。川は水があってこそ川、地元の皆さんからも清流復活を望む声が高まり、「二川ダム水環境改善事業」を実施しました。

工事は、ダム本体に穴を開け直径40センチの放流設備を設置するもので全国でもほとんど事例がない画期的な工事です。清流復活後は、様々な生物も復活することでしょう。（清水町）

## 合気道の創始者 植芝盛平の生涯



合気道の創始者「植芝盛平」は田辺市元町に生まれ、幼い頃から武道に励み、十九歳で修行の旅に出て各流の武術遍歴を重ねました。そして、修得した独自の武術を合気道と名付け、国内はもとより世界中にその名を広めました。

南紀熊野体験博では盛平翁の没後三十周年を記念し、「合気道演武大会」を中心としたイベントを実施しますが、この度、市民読本「植芝盛平の生涯」（1冊200円、送料別）が発刊されました。購読希望者は、田辺市教育委員会生涯体育課内植芝盛平翁顕彰会事務局☎(0739)26-4907へ。（田辺市）

## 和歌山県労働センター

和歌山市北出島の県勤労福祉会館「プラザホープ」に隣接して「和歌山県労働センター」が完成しました。この施設は和歌山市内に点在する労働行政関係団体等を集め、労働者及び事業者の利便性を図るために建設したオフィスビルです。1階には労働相談・情報コーナーを設置していますのでご利用ください。

くわしくは県庁労政能力開発課☎(0734)41-2790へ



## 和歌山県写真コンテスト

ぶるさとの誇りを見つけよう"
～南紀熊野体験博にむけて～

来年4月から開催される「南紀熊野体験博」は古い歴史・文化そして自然、すべてが舞台です。この機会に、ここに住む私たちが、ふるさとのすばらしさを再発見する事が大切だと考えています。県外の人にも、地域に住む人にも、知ってもらいたい場面や風景はありませんか?あなたの見つけた「これがわかやま!」という作品をお待ちしています。

**資格** 県内在住又は通勤・通学の方

**規格** キャビネサイズ（サービスキャビネも可）以上四つ切り（ワイド四つ切り可）まで。組写真不可。

**応募** 作品の裏にタイトル、撮影日時、場所、住所、氏名、年齢、職業（勤務先又は学校名）、電話番号を記入し、8月31日までに、県庁広報広聴課へ

※入選作品の著作権は主催者側に帰属します。また、選外作品についても広報紙等へ掲載する場合があります。

※作品は未発表のもの。原則として返却しません。

※入選者には通知があり次第ネガ・ポジを提出いただきます。

## 催し

**紀南文化会館** ☎(0739)25-3033

心ゆたかな紀南音楽祭 7月27日 午後6時～ 入場無料

**県植物公園緑花センター** ☎(0736)62-4029

| | | |
|---|---|---|
| 写生展 | | 7月18日～8月16日 |
| 写真教室作品展 | | 8月1～23日 |
| 親と子の押し花教室 | 花の押し方まで | 7月30日 |
| | 作品の仕上げ | 8月6日 |

## お気軽にどうぞ

○交通事故相談

【常設相談】月～金曜日（東牟婁振興局は水曜日を除く） 場所 県庁交通事故相談所、東牟婁振興局

【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 7月21日、8月3日 受付 午後1～2時 ●東牟婁振興局7月17日、8月7日 受付 午後3時まで

【巡回相談】●伊都振興局 7月22日 ●西牟婁振興局 8月12日

○県民相談

【常設相談】月～金曜日 場所 県庁県民相談室、各振興局

【弁護士による相談】7月24日、8月14日 場所 県庁県民相談室 受付 午前9～11時

【移動相談】●総合センター（湯浅町） 7月17日 ●ふるさとセンター（九度山町） 7月31日 ●住民センター（海南市） 8月7日 受付 午後1～3時

※くわしくは☎(0734)41-2359（交通事故相談）、☎(0734)41-2356（県民相談）へ

○紀の国被害者支援センター

犯罪・事故・災害などの被害者やその家族の方々を精神的に支援します。

☎(0734)27-1000

火・木曜日 午後6～9時 土曜日 午後1～4時

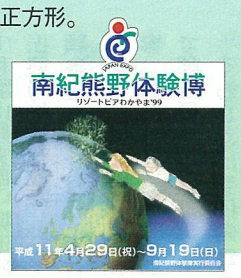
## 南紀熊野体験博ニュース

活用してください！ステッカー

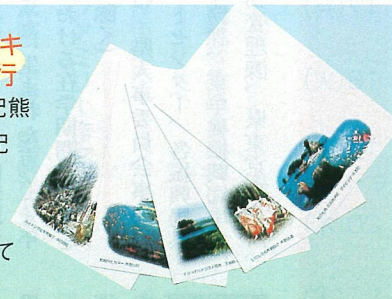
南紀熊野体験博のステッカーができました。このステッカーは、英国の絵本作家ジョン・バーニンガムさんが制作した博覧会のテーマストーリーに登場する主人公の子どもたちをデザインしたもので、地球を旅する子どもたちの生き生きした姿を描いています。

ステッカーの大きさは、縦横10センチの正方形。使い方は全く自由！皆さんの自由な発想で大いに活用してください。

ステッカーをご希望の方は電話またはファックスで、南紀熊野体験博実行委員会☎(0734)41-2074、ファックス(0734)41-2072へお申し込みください。




和歌山県版絵入りハガキ「南紀和歌山紀行」発行



県内の郵便局で、南紀熊野体験博にちなんだ南紀の名所をデザインした記念のハガキ「南紀和歌山紀行」が販売されています。

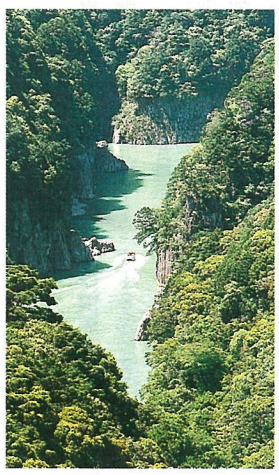
絵柄は、「いにしえの熊野詣・熊野古道」「ハイキングと牛馬童子・中辺路町」「熊野川とカヌー・熊野川町」「紀の松島・那智勝浦町／ダイビング・串本町」「ナショナルトラストの地天神崎・田辺市」の5枚組です。

## わかやま魅力再発見 あれこれ 21

和歌山市の松本明さんからお寄せいただいた魅力をご案内します。

### 熊野川は自然の宝庫

熊野川町の玉置口に森林浴エリア「瀞の郷」があり、キャンプやカヌーでにぎわっています。この玉置口の高台にバンガローなどの施設がある林間広場があり、木作りの物見塔があって、360度の大パノラマが楽しめ、渓谷を行くウォータージェット船が展望できます。林間広場から山道のハイキングコースを約1時間で乗船場のある田戸に出ます。次々と到着するジェット船を河原で眺めてのんびりするのは最高です。



### あなたのお気に入りの「和歌山自慢」をお寄せください。

場所、風景、建物、特産物など何でも構いません。簡単な説明文と写真を添えて、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒640-8585県庁広報広聴課県民の友「わかやま魅力再発見」係へお送りください。